

もりやま
あっちこっちLIVE
— MoriYama Rolling Artists —

蔵くら クラシック

2022年11月13日(日) 会場 東春酒造 酒蔵

1回 11:30 開演 11:00 開場 2回 14:30 開演 14:00 開場
全自由席 各回 上演時間 約60分



チェロ
小縣 歩

ピアノ・編曲
菅原 拓馬

リコーダー
もりコーダーアンサンブル

川本由美子 酒井 由美
世古 敦子 永田 久子 三輪ちづ子
作編曲・指導 / 美口 啓子

進行・朗読
白樺 八青

演奏予定曲

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン
チェロとピアノのためのソナタ第4番
アルヴォ・ペルト
鏡の中の鏡
エリック・サティ
自動記述法 (朗読つき) など

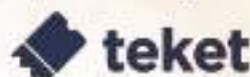
チケット 2,000円 中学生以下 1,000円

※未就学児のひざ上鑑賞無料 (お席が必要な場合はチケットをお求めください。)

定員 各回 50名限定 ※定員になりましたら当日券は扱いません。

チケット取扱い

電子チケット「teket」にてご購入ください。



<http://teket.jp/1084/147996>



問い合わせ

MAIL: moriyamabunka20@gmail.com

TEL: 090 - 4257 - 9192 (白樺)

052 - 796 - 1821 (守山文化小劇場)

「お子様のご入場の際にお願い」
席を立ったりお喋りや泣き声など、ほかのお客様の鑑賞の妨げになる場合、
会場外にお控えいただく場合があります。あらかじめご了承ください。

チアシデザイン: しのみず鏡巳
主催: 守山の文化を考える会・(公財)名古屋市民文化振興事業団(守山文化小劇場) 協力: 東春酒造株式会社

「蔵くらクラシック」出演者

酒蔵の建立時期を意識した今回のプログラム。
歴史空間でお会いできる事を楽しみにしています。



チェロ 小塚 歩 おがた すすむ

愛知県立芸術大学を卒業し、長野県戸隠の山小屋で四季を経て、名古屋に異り大学同期との弦楽四重奏団、ピアノトリオを軸に演奏活動。

コンサート会場以外に、病院、森の中、山小屋、ランチタイムの食堂などフィールドにとらわれない演奏会をしている。

ONSEN・ガストロノミー・ツーリズムでの仲間とのチェロ三重奏演奏はコロナ前の貴重な経験になっている。

また、藤田医科大学、南山大学フェリス、愛知県立中央高等学校での指導では個性豊かな学生にとって最高の卒業生を目指すべく、戸隠生活での出会いを糧に試行錯誤を続けている。

編曲・ピアノ 菅原 拓馬 すがはら たくま

宮城県生まれ。現在は愛知県あたりで作曲者およびピアニストとして音楽活動中。

これまで、2019年守山文化小劇場20周年記念公演「うた芝居 春のひかり 森のかげ」において作曲、演奏、音楽監督をつとめ、もりやまあっちこっちライブにもこれまで2度出演している。近年は福祉分野にも関心を持ち、長久手市文化の芸術事業の一環としてサクソフォン奏者石川賢賢氏と共に福祉施設などで演奏する他、実際にヘルパーとして障害を持つ方々の生活サポートも行っている。

元来お酒が大好きで、今回は東照で有名な東春酒造にて演奏できることをとても楽しみにしている。

もりコーダーアンサンブル

「守山の文化を考える会」の主幹企画で「裏方」に回ることが多い顔ぶれを中心に結成。2022年11月の酒蔵コンサートがお披露目となる。

声楽家の美口珠子（現在高知県在住、守山の文化を考える会副代表）が今回のコンサートのためにリコーダーオリジナル曲作曲、また編曲も行う。



進行・朗読 白樺 八重 しらばち やし

大学で社会福祉学を学んだのち、ミュージカル俳優としてデビュー。その後何ものにも縛られないボイスパーフォーマーとして自由に表現活動を展開。

エッセイ、詩、歌詞、小説などの執筆活動も多彩。

また、人々の声と言葉を響き自己を開花させる「ことばのまなびや」ではユニークな講座を開催し、様々な舞台公演を開催。

2021年より「守山の文化を考える会」代表。

守山の文化を考える会

1998年、守山文化小劇場建設に先駆けついで丸山礼二氏を中心に設立。

1999年6月の開館記念公演うた芝居「花・夢・街道～守山いまとむかし」を皮切りに、14本のユニークな音楽会や舞台公演を制作、守山文化小劇場で上演。

並びに、劇場との共催による「もりやま合唱フェスタ」を毎年企画。

2019年9月～10月には、劇場20周年を記念して、劇場との共催によるコンサート「ふるさとの歌 人生の歌」、作品展「クラフトアートとII」、うた芝居「春のひかり 森のかげ」を上演、延べ1200名の来場者を迎え成功裏におさめる。

もりやまあっちこっちLIVE

2019年10月に上演された守山文化小劇場20周年記念公演「春のひかり 森のかげ～幾千年のときを経て～」にゲスト出演したミュージシャンで結成された「ACTやまもり」と「守山の文化を考える会」が、コロナ禍の制限された中で開催してきたコンサート&作品展のシリーズ企画。感染状況によって規模が延期や中止に見舞われたが、5回の企画を開催してきた。

・あっちこっちLIVEこれまでの足跡

2020年9月「ケン、たま、たっくんの丁々舞止し」+「布とたわむれて」（菅原寺）

2020年11月「八竜緑地の風に吹かれて」（八竜の森）

2021年3月「ハルシンドウの咲くころに」+「ワイヤーアート展」（はちりゅうのもり音楽館）

2021年7月「暮らしの音楽祭文月ノ日」+「Garden of..II」（どうだん亭）

2022年5月「森の音楽会」+「キルト&イラスト展」（八竜緑地）

もりやまあっちこっちLIVE「蔵くらクラシック」 同時開催「柴田祐司先生のアトリエ」



開催日時（作品展鑑賞のみの方：入場無料）

2022年11月12日（土）13:00～17:00

13日（日）9:00～11:00

13:00～14:00

※コンサート上演中には、ご鑑賞のための入場はできません。予めご了承ください。



柴田 祐司 しばた ゆうじ

1924年（大正13年）、愛知県に生まれる。

東京師範学校卒業。

主に守山区の中学校で美術教師として長年勤め、多くの子どもたちに影響を与える。

1954年～2022年、70年の長きにわたり光風会、日展を中心に創作活動作品発表に取り組み、昭和58年、平成4年に、日展東海展において中日賞を受賞。各地で後進の指導に尽力するとともに、地元、守山区民衆の審判員を長年にわたり務め、守山区美術協会会長の会長として地域の美術活動の発展に尽くす。2022年2月21日逝去、享年99歳。

新型コロナウイルス感染予防のためのお願い



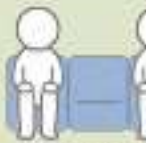
会場ではマスク着用をお願いいたします。



ご入場の際には手指の消毒をお願いいたします。



風邪・発熱症状のある方はご入場をお断りいたします。



お客様同士の安全な距離の確保にご協力をお願いいたします。



大きな声での会話はやめてください。

会場には空気清浄機を設置し、椅子などの備品には消毒を致します。

東春酒造 酒蔵

〒463-0090 名古屋市守山区瀬古東三丁目1605

●JR中央線「新守山駅」より徒歩20分、車で10分

●「新守山駅」と会場との送迎をご希望の方は

11月10日までにご予約ください。（090-4257-9192）



※駐車場は台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。



Facebookイベントページにアクセスできます。
新型コロナウイルス感染状況などにより開催条件に変更が生じることがあります。
QRコードよりイベントページの最新情報をご確認ください。